



十中だより

令和2年9月1日
文責 奈加晃典

めざす生徒像

- ☆自ら進んで学び、考えて行動できる生徒(確かな学力)
- ☆勤労と責任を重んじ、礼儀正しく協力できる生徒(豊かな人間性)
- ☆自他の生命を尊重し、心身を鍛える生徒(健やかな体)

校訓

自主 協働 剛健

2学期が始まりました

短い夏休みも終わり2学期が始まり2週間が経ちました。連日大変な猛暑を記録していますが、新型コロナウイルスによる感染予防と熱中症予防を両立させなくてはなりません。ソーシャルディスタンスを保てると判断される場合は適宜マスクを外すなどして、自身の体調管理をしっかりと行いましょう。また、熱中症は体調が悪いと感じてから時間が経って重症化する場合があります。少しの変化でも近くにいる先生に声をかける等をして、しっかりと予防しましょう。

さて、1学期の終業式、2学期の始業式でも話をしましたが、PDCAサイクルの必要性についてももう一度書きたいと思います。

この言葉は **P l a n (計画)** **D o (実行)** **C h e c k (評価)** **A c t i o n (改善)** の頭文字をとったものです。

計画を実行しただけでは、問題が解決や改善されるとは限りません。その計画が成功だったとしても失敗だったとしても、評価を行い、改善をしなければなりません。生徒のみなさんにとっては、学校での生活や学習のことになりますが、社会に出たとしても仕事の面では非常に重要なことですので、しっかりと今から実行したいものです。

大事なポイントとしては、まずは目指すゴールはどこなのかということから始めます。できるだけ具体的な内容で、期間を設定することも大事になってきます。ただなんとなく「毎日勉強する。」という目標ではなく、「2学期の期末テストでは、今よりも各教科10点以上アップさせる。」というような、内容や期間が明確にされているほど、取り組み方が変わってくると思います。

ただし、あきらかに達成不可能な目標では、計画倒れに終わったり、評価そのものもできないという結果になりますから、注意しましょう。

部活動や勉強、学校や家庭での生活全般において、具体的な目標や計画を持つことで、行動のひとつひとつに大きな意味が出てきます。そして、その行動に対する意識が変わってきます。期間も長く、いろんな行事が多い2学期です。PDCAを大事にして、頑張りましょう。



2学期の生活について

2学期は文化祭や体育大会、修学旅行等行事がたくさんあります。新型コロナウイルスにより、修学旅行を中止にする学校が出たり、文化祭や合唱コンクールも中止にする学校も多い中、本校はできる限り工夫をした上で、実施の方向で考えたいと思っています。メディアの報道では、今後ワクチンが開発されたとしても、感染を防止するまでにはいたらず、感染した場合に重症化しにくくなるという程度かも知れないということも言われています。インフルエンザも同様のことが言えるのではないのでしょうか。とするならば、これからは長期間このウィルスとは共存していくしかないのではと思われま。もちろん不確かなことは言えないにせよ、これからは新しい生活様式を確立して生活していくとするならば、生徒本人にとっては、やり直すことのできない、たった一度の中学校での生活を、できる限り工夫をした上で頑張らせてあげたいと思っています。



もちろん文化祭では毎年保護者の皆様にご協力いただいているバザーも中止にしたり、密をさけるために学年の出し物にも制限をかけるしかありません。合唱コンクールも距離をとって行ったり、保護者の皆様の応援にもご不便をかけるしかない状態です。体育大会も感染防止のために密を避ける競技に限定し、半日開催とします。

修学旅行については、文部科学省からの指針を参考に、本校でもガイドラインを作成し、旅行業者とも綿密な計画を立てているところです。

どこまで対策をしても、完全な安全は保証できるものではありません。それを理由にすべてを中止にすれば安全なのかも知れませんが、学校という場所が、学力だけを身につけるためだけにあるのではなく、友達や先生と色々な行事に取り組み、成功させるために努力したことや、やり遂げた感動など、人と互いに協力してこそ得ることのできる体験こそが、彼らにとって一番大事なことでと思っています。そして、その力がやがて世の中に出た時に必要になるところがくると考えます。

色々な行事で、ご迷惑やご不便をおかけすることになるとは思いますが、ご理解とご協力をよろしく願いいたします。